

第1回「までいな家」村民協働ワークショップ

環境にやさしい水路づくり 報告書

日時: 2009.11.22(土) AM10:00~

場所: 「までいな家」建設現場にて

当日の朝は最低気温-2度と冷え込みましたが、午前中は気温も上がり、暖かくて気持ちの良い青空の下で「までいな家」初の村民協働ワークショップを開催しました。

今回は村内から2名、郡山市の日本大学工学部から先生1名と学生20名、総勢23名の皆さんにご参加いただき、環境にやさしい水路づくりを学びました。

まず初めに設計者の豊田善幸氏から「までいな家」の趣旨を簡単にご説明いただき、講師でNPO法人パーマカルチャーセンタージャパン理事の山田貴宏氏から施工手順や環境にやさしい水路の機能についての説明を受け、作業に入りました。

【環境にやさしい水路の機能】

・自然の仕組みをいかして雑排水を浄化する。

廃水中の有機物を微生物によって無機物に分解し、その無機物を植物の根から吸収させて浄水する。窒素・リンも植物が吸収する。下水道を通じて環境中に放出されている栄養素を域内にとどめ、環境に対する負荷を少なくする。



防水シートの敷設

【施工手順】

1. 溝の整地、排水元の高さ関係・勾配などの確認
2. 防水シートの敷設
→ 水下から水上に向かって敷いていく。
3. 吸出防止材(ヤシの繊維シート)の敷設
→ 法面の土を定着させるため。滑り止めの役割。
4. 土壌と石の敷設
→ 土が流れ去らないように石で固定する要領で。
5. 石と石の隙間に細かな砂利、小石を入れる
→ 多孔質な空間の作成。
※ 来春、水生植物(セリ、クレソン、クワイなど)の苗を植えて完成となります。



土壌と石の敷設



施工完了

大勢の方々にご参加いただきましたので思いのほか作業がはかどり、午前中で全ての作業を終えることができました。



参加者全員で記念撮影

午後からの作業を予定していた時間がぼっかり空いてしまったので、急遽勉強会を開催しました。

◆設計者・豊田善幸氏

までいな家のコンセプトについて



◆PCCJ・山田貴宏氏

パーマカルチャーとは何か



お二人の講義内容は今回作った水路の話も含めて『環境』に重点を置いたもので、参加者の皆さんには興味深い分野だったということもあり、いくつも質問が上がるなど大変有意義な勉強会となりました。

約1時間半の勉強会の後、村の担当者からお礼の言葉と閉会の挨拶をして、第1回村民協働ワークショップを終了しました。

今回ご参加いただきました皆さんには改めて感謝申し上げますとともに、今後とも飯舘村の「までいな家」づくりにご協力をお願いしたいと思います。